

奥羽大学報



令和7年度入学式

目次

奥羽大学の理念・目的 / 令和7年度入学式 / 告辞	1
新生代表宣誓 / 特待生之証授与式	
歯学部新生オリエンテーション	2
奥羽大学同窓生・教職員・東北歯科専門学校「子女」歯学部特待生の募集開始 奥羽大学歯学部・薬学部 卒業生調査について	3
薬学部新生オリエンテーション・ガイダンス	
大学院新生オリエンテーション / 大学院特別研修セミナーの開催 歯科医師国家試験 / 薬剤師国家試験 / 献体者合同慰霊式	4
実験動物供養 / 2025年度歯学部教育支援者後援会・保護者懇談会 2025年度歯学部教育後援会東京地域会・大阪地域会の開催	5
地域と共に歩む公開講座 / 卒業生が東北大学教授に就任 ライフサポート部が仙台国際ハーフマラソンへ救護ボランティアとして参加	6
2025年度歯学部FD事業計画 / 臨床実習登院式 歯科医師臨床研修開始式 / 薬学部就職先一覧	7
日本歯科医師会入会説明会の開催 / 薬学部入学前スクーリング 小林初夫図書館長が郡山駅前のビッグアイで講演	8
学校法人晴川学舎 2024年度決算報告	9
歯学部新任教授紹介	11
人事	12
オープンキャンパスの開催 / 特待生募集	

180

通算 第305号

奥羽大学の理念・目的

理 念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

目 的

奥羽大学は、教育基本法(昭和22年法律第25号)並びに学校教育法(昭和22年法律第26号)に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道德的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部のその目的は、次の各号のとおりとする。

1. 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2. 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

令和7年度入学式

4月4日(金)午前10時より、第2講義棟第1講義室にて、令和7年度入学式が行われた。

式は国歌斉唱に始まり、安部仁晴大学院研究科長の学事報告と続き、新入生85名(歯学部33名、薬学部52名)及び編入生20名(歯学部13名、薬学部7名)の全員が呼名され、入学が許可された。清浦有祐学長より新入生への期待に満ちた告辞があり、これに対して入学生を代表し、歯学部黒江ゆり香さんと薬学部壁谷沢知哉さんが、「建学の精神を尊び、学則を守り社会に役立つ人間を目指し、学業に専念する」と誓った。また、瀬川洋歯学部長、押尾茂薬学部長より歯学部16名、薬学部17名の特待生に対して証の授与があった。最後に教授紹介が行われ、厳肅な雰囲気の中に終了した。また、同日の午後2時から、大学院歯学研究科の入学式も行われた。

入学式は、人生の中でも将来へ希望を繋ぐ節目にあたり、新入生、ご家族の皆様にとっては心待ちにしていた行事であろう。参加者は満面の笑みで式に臨んでいた。

告辞

学長 清 浦 有 祐

新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。皆さんを本学の新たな一員としてお迎えできることは、私達教職員にとりまして、無上の歓びであると共に大いなる誇りであります。

そして、今に至るまで皆さんを温かく見守り、

時に励まし、支えてこられたご家族、保護者の皆様に、心より感謝と敬意を表します。

また、ご多忙の中をご臨席賜りました学校法人晴川学舎理事長 大桶志延先生をはじめ、ご来賓の皆様方に謹んで御礼申し上げます。

振り返れば、皆さんは新型コロナウイルス感染症という困難な中にあっても志を貫き、学びを絶やすことなく努力を重ねてこられました。自らの未来に向けて歩みを止めなかった皆さんの努力と真摯な姿勢こそが、これからの医療を支える力となるのです。

本学は、創立者である故影山四郎先生が東北歯科大学として創設されて以来、幾多の有為な歯科医師・薬剤師を世に送り出し、我が国の医療の進展に寄与してまいりました。

建学の理念は、「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材の育成」であります。この理念は、単なる知識や技術の習得を越え、人としての成熟と社会への責任を求めるものです。この理念を体現するため、皆さんに三つの大切な指針をお伝えいたします。

第一に、「医療人としての倫理観と共感力を涵養する」こと。医療は、人の生命と尊厳に寄り添う営みです。知識や技術だけではなく、目の前の患者一人ひとりの痛みや不安に心を寄せ、真摯に向き合う姿勢こそが、何より大切です。皆さんには、医療人としての自覚と使命感を胸に、常に誠実であることを忘れずにいてほしいと願います。

第二に、「専門性の深化と学びの探求に努める」こと。現代医療は日進月歩であり、AIやゲノム

医療等の革新的な技術が、日々その姿を変え続けています。皆さんが目指す歯科医師・薬剤師という職は、専門性の高さゆえに、絶え間ない学びと研鑽が求められます。基礎の習得に忠実であると同時に、変化を恐れず、柔軟に学び続けてください。

第三に、「時代の変化を見据え、普遍の本質を見失わぬこと」テクノロジーが進歩し、医療の在り方が大きく変化する時代にあっても、医療人としての本質は単に知識や技能を活かすことにとどまりません。デジタル化が進み、AIが診断や治療に関与するようになって、求められるのは、物事を深く考察し、複雑な状況の中でも最善を判断できる「洞察力」と「総合的な判断力」です。時代の流れを敏感に捉えつつも、流されることなく、自分自身の価値観と使命感をもって行動できる人であってほしいと願います。皆さんの真摯なまなざしが、未来の医療に新たな光をもたらすはずです。以上の三つの指針を心に留めてください。

皆さんには、計り知れない可能性が備わっています。学びの場は時に厳しく、課題は多くとも、それを乗り越えた先に、確かな成長と自信が待っています。どうか情熱を携え、自らの志に誠実であり続けてください。やがて、皆さんがそれぞれの専門性を身に付け、人として、医療人として、大きく成長された姿で本学を巣立つ日を、私達教職員一同、心より楽しみしております。

皆さんの未来が、希望と誇り、そして、志に満ち溢れたものでありますよう、心から祈念し、告辞いたします。

新入生代表宣誓

本日は、私達一同にとりまして、生涯忘れることのできない大きな喜びであります。

ただ今、学長先生の告辞をいただき、大学生としての自覚と責任の重大さを強く認識いたしました。

私達入学生一同は、ひとときの喜びにおごることなく、一日一日の積み重ねを大切に、建学の精神を尊び、学則を守り社会に役立つ人間を目指し、学業に専念することを誓います。

令和七年四月四日

入学生代表 歯学部歯学科 黒江ゆり香
薬学部薬学科 壁谷沢知哉



誓いの言葉を述べる入学生

特待生之証授与式

本学では、2015年度に特待生制度を設け、2025年3月には5期特待生が卒業した。

学費全額または半額免除の経済支援を受けた特待生は、歯科医師・薬剤師として地域医療を通じ、社会に貢献してくれるものと期待される。

今年度の特待生之授与式は、歯学部が4月11日(金)、薬学部が4月14日(月)にそれぞれ行われ、清浦有祐学長から「特待生之証」が授与された。特待生の資格は基準により最大6年間継続できるが、これまでに大多数の特待生が継続している。

2025年度特待生之証授与者数

第1学年	歯学部16名	薬学部17名	計33名
第2学年	歯学部15名	薬学部4名	計19名
第3学年	歯学部12名	薬学部11名	計23名
第4学年	歯学部13名	薬学部8名	計21名
第5学年	歯学部10名	薬学部9名	計19名
第6学年	歯学部17名	薬学部17名	計34名

歯学部新入生オリエンテーション

4月4日(金)の入学式に引き続き、同日及び4月7日(月)の2日にわたり、第3講義棟にて歯学部新入生を対象としたオリエンテーションが開催された。4月4日は、新入生・教育支援者を対象に、学長、歯学部長の挨拶にはじまり、学生部長による歯学部の概要説明、学年主任・クラス担任・カウンセラーの紹介、郡山市のハザードマップ・緊急避難場所・医療機関などの登録、教務関係の説明が行われた。翌7日は、新入生のみを対象に、授業科目担当教員から各科目の概要説明があった。その後、学生生活についての説明、学内ネットワーク講習、クラス別ガイダンス・学内見学が行われた。

奥羽大学同窓生・教職員・東北歯科専門学校「子女」歯学部特待生の募集開始

奥羽大学同窓生ならびに東北歯科専門学校卒業生(本学教職員を含む)との結束を高め、次世代の教育を支援することを目的に、生計を共にしている子女(子・孫)を対象にします。

減免内容：2026年度以降の入学生の授業料から200万円を6年間減免する(授業料150万円×6年で合計900万円)。留年した場合は当該学年を進級した時から減免を再開し、6年間で限度とします。

選抜基準：特待生選抜入試もしくは一般選抜試験の受験を条件とし、取得点数が70点以上の者から人物および健康が優秀な者を選抜します。

○定員：8名

○一般・特待入試日程

2026年1月21日(水)

2月19日(木)

3月13日(金)

Innovative Future
奥羽大学

奥羽大学は、
人と人の繋がりを大切に、
これからの世代の学びを
力強くサポートしていきます。



授業料一年間200万円減免

授業料一年間半額免除

**同窓生・教職員子女
歯学部特待生**



奥羽大学及び東北歯科専門学校の同窓生と教職員の「子」・「孫」にあたる方

**薬学部編入
特待生**



4年制薬学部卒業生、若しくは卒業予定の方

2026年度入試より 募集開始

【同窓生・教職員子女歯学部特待生】

■資格
奥羽大学及び東北歯科専門学校の同窓生と教職員の「子」・「孫」で、人物、成績、健康共に優秀で他の学生の模範と認められる者。

■選抜基準
特待生選抜入試もしくは一般選抜入試の受験を条件とし、取得点数が70点以上の者の中から人物及び健康が優秀な者を選抜。

■資格
4年制薬学部卒業生もしくは卒業予定者、人物、成績、健康共に優秀で他の学生の模範と認められる者。

■選抜基準
編入学試験の受験を条件とし、取得点数が80点以上の者の中から人物及び健康が優秀な者を選抜。

●定員8名

●当該年度の授業料を200万円減免

●授業料減免期間 6年間

●定員1名

●当該年度の授業料の半額を免除

●授業料減免期間 3年間

Innovative Future
奥羽大学
オウ ヴ ァ イ ガ フ

TEL 024-932-8995

歯学部 薬学部

東北歯科専門学校
東北歯科専門学校
奥羽大学 歯学部
奥羽大学 薬学部
奥羽大学LINE
公式アカウント

新しい入試スケジュールなどはこちらから！

奥羽大学LINE
公式アカウント

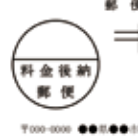
奥羽大学歯学部・薬学部 卒業生調査について

教育成果の可視化により点検・評価し、今後の授業内容の改善向上につなげることを目的とし、卒後2年目(2024年3月卒業)から10年目(2016年3月卒業)までの1298名を対象に調査を行います。調査方法は本年8月お盆頃DMを実家に郵送いたします。

ハガキ裏面のQRコードからWeb上で回答を行います。設問量は15問程度です。

ご協力を宜しくお願いいたします。

郵便はがき



〒000-0000 ●●●●●●

奥羽 太郎 様

送付先・〒000-0000 ●●●●●●

奥羽大学 卒業生調査協力をお願い

ご回答いただいた方を賞品に「Amazonギフト券(500円分)」をお送りします。
回答が規定数に達した場合、回答期間の途中で締め切る可能性があります。
ぜひ早めのご回答をお願いします。
※メールアドレスが不明な場合は、調査票裏面に記載のメールアドレスをご入力いただく必要がございます。お申し込み時に必ずご確認ください。

■回答期間
2025年8月1日(金)～2025年8月25日(月)

■対象者
2015年3月～2024年3月 奥羽大学卒業生

※卒業生ご本人様がご実家を離れていらっしゃる場合は、本誌掲載の転送、共有をお願い出来ませんとさせていただきます。



WEBフォームからご回答をお願いいたします。

※このスペースに、リカレント教育など大学に関する案内や、卒業生に対するメッセージを記入可能です。

■回答方法
①QRコードまたははがきから回答画面にアクセスしてください。
<https://www.uo.ac.jp>

②T O P画面にて下記のIDを入力の上、調査回答画面にお進みください。
【ID】

■調査内容
2015年3月～2024年3月に卒業した課程でのご経験や学びについて

■所要時間
10分程度で回答可能です。

※お問い合わせ先
奥羽大学 ●●●●●●
〒000-0000 ●●●●●●
TEL 024-932-8995 FAX 024-932-7372 E-mail info@uo.ac.jp

※本誌のご回答は本学の個人情報保護方針及び関係機関に準拠して管理されます。個人が特定される形式での回答は致しません。

※奥羽大学は、本調査の実施を関係者すべてに通知してあります。
ペーパーセムール・関係者アド・ブライディング・サードパーティ
マーケティング・リサーチ・調査・共有・共有
TEL 024-932-8995 FAX 024-932-7372 E-mail info@uo.ac.jp

薬学部新入生 オリエンテーション・ガイダンス

薬学部新入生を対象としたオリエンテーションとガイダンスが、4月4日(金)と4月7日(月)に実施され、新1年生と編入生が本学での大学生活のスタートを切った。4日のオリエンテーションでは、学長、薬学部長、学生部長、学年主任の挨拶に続いて薬学部の教育目標とカリキュラムの解説、カウンセリング室の利用などについて説明が行われた。7日のガイダンスでは、薬学部の3ポリシー、卒業までの道のり、大学生活と科目履修上の注意などが説明された。さらに、その後の新1年生のフレッシュマンセミナーでは、4月から5月にわたって飲酒が健康に与える影響、薬物乱用の実態と薬学部学生としての心構え、大学での円滑なコミュニケーション、性的マイノリティに関するガイダンスも実施された。

大学院新入生オリエンテーション

2025年度大学院入学式が、4月4日(金)に大学院各専攻科目担当教員参列のもと挙行された。式では新入生13名が呼名され、清浦有祐学長より入学が許可された。続いて、学長より研究者としての理念、研究活動の意義、大学院生の心構えについて告辞が述べられた。

入学式終了後、大学院オリエンテーションが開催され、安部仁晴研究科長からカリキュラムマップに基づいた入学後から学位取得までの流れの解説と、研究倫理の重要性についての説明があった。

大学院特別研修セミナーの開催

4月18日(金)、2025年度第1回大学院特別研修セミナーが開催され、大学院生、大学院担当教員をはじめ、学部教員を含めて約70名が参加した。日本の医学研究を牽引してこられた第一人者であり、日本医療研究開発機構(AMED)前理事長、公益財団法人実中研所長、そして慶應義塾大学名誉教授である末松誠博士を講師として迎え、「グローバルデータシェアリングによる医療研究開発の課題克服」と題した講演が行われた。

講演では、世界的な医療課題の解決に向けて

不可欠となる「グローバルなデータ共有」の意義と実践について、末松博士が国内外で先導した取り組みの紹介を通して、極めて具体的かつ情熱的に語られた。

講演後の質疑応答では多くの質問が寄せられ、予定時間を大幅に超えて活発な議論が繰り広げられた。参加者からは、「自らの研究をグローバルな視点で捉える契機となった」、「データ共有の意義を実感した」などの声が相次ぎ、研究者としての使命感と探究心を新たにする機会となったことがうかがえた。

今後の研究活動に向けた大きな刺激と学びを得る有意義なセミナーとなった。

歯科医師国家試験

第118回歯科医師国家試験は、2025年2月1日(土)と2日(日)に実施され、3月14日(金)に合格者が発表された。

本学は新卒受験者46名中32名が合格、既卒者を含めた全体では121名中55名が合格した。

薬剤師国家試験

2025年2月18日(土)、19日(日)の両日、第110回薬剤師国家試験が実施され、3月25日(火)に合格者が発表された。

本学は新卒受験者55名中41名が合格、既卒者を含めた全体では178名中73名が合格した。

献体者合同慰霊式

2025年度献体者合同慰霊式が、5月30日(金)郡山市内にある霊鷲山常居寺の慰霊碑前において執り行われた。2024年度成願者6名のご尊名が拝誦され、霊札納塔の儀が執り行われた。式では清浦学長の式辞、学生代表の戸谷悠人さんによる追悼の辞が述べられ、続いて参列された方々、本学学生による献花が行われた。ご献体をされた方々ならびにご遺族に感謝し、参列者全員でご冥福を心からお祈りした。



追悼の辞を述べる戸谷悠人さん

実験動物供養

2025年度実験動物供養が、5月30日(金)、郡山市片平町の霊鷲山常居寺本堂にて、しめやかに営まれた。学長、歯学部長、薬学部長、歯学部学生部長、薬学部学生部長、事務局長、動物実験委員会委員長、歯学部第2学年学生および動物実験に関わる歯学部・薬学部教員と大学院生が参列した。生命科学の目覚ましい進歩は、実験動物の犠牲の上に成し遂げられたものである。本学における教育と研究に貢献した多くの実験動物に対して、参列者全員で心から感謝を表した。



弔辞を述べる安部仁晴 教授

2025年度歯学部教育支援者後援会・保護者懇談会

5月24日(土)、2025年度歯学部教育後援会第1回総会が、第2講義棟にて開催された。その後、歯学部の保護者懇談会が行われた。保護者からは、普段の生活の様子や進級基準、国家試験の傾向やCBT・OSCEに関する事など、学業全般に係る質問が多数なされた。クラス担任がそれ

ぞれ現況を説明し、学習のアドバイスを行うなど、丁寧に回答した。



歯学部教育後援会で挨拶する山本啓太郎会長

2025年度歯学部教育後援会東京地域会・大阪地域会の開催

6月28日(土)、千代田区のホテルグランドアーク半蔵門にて、関東在住の保護者を対象とした「東京地域会」が開催された。また7月5日(土)には、大阪ガーデンパレスにて、西日本地域在住の保護者を対象とした「大阪地域会」が行われた。

当日は、学長、歯学部長、学生部長から、教育理念やその実践、2025年度の教育方針、学生支援体制の現況について、具体的な説明がなされた。その後、出席した保護者と教員との個別面談の時間を設け、学生一人ひとりの学修や生活状況について報告が行われた。

本地域会は、遠方にお住まいの保護者の方々に対して、教育活動や学生様子を直接伝え、理解を深めていただくことを目的としている。また、保護者と教員との信頼関係を一層強化し、学生の学修環境や成長支援をより充実させるための、貴重な機会ともなっている。

地域と共に歩む公開講座

本学では、地域の皆様と知的な交流を深めるとともに、健康への意識を高めていただくことを目的に、「公開講座」を継続的に開催している。今年度のテーマ・講師については、次の通りである。

開講日	テーマ	講師
5月10日(土)	お口の機能低下は全身の健康にも関係する！ ～オーラルフレイルとその対策～	歯学部歯科補綴学講座 高齢者歯科学分野 教授 鈴木史彦
5月31日(土)	しっかり噛んでおいしく食べよう！ ～健康長寿のカギは補綴(はてつ)歯科治療～	歯学部歯科補綴学講座 有床義歯学分野 准教授 松本知生
6月7日(土)	子どもの健口守れていますか？ ～保護者と歯科医・ダブルチェックの勧め～	歯学部成長発育歯学講座 小児歯科学分野 教授 島村和宏
7月19日(土)	デンタルインプラントとは？ ～実際の治療とその後について～	歯学部歯科補綴学講座 口腔インプラント学分野 助教 河村亨英

この公開講座は、6月末までに3回開かれた。各回とも多くの参加者が来場され、メモを取りながら真剣に耳を傾ける姿が印象的であった。講演後には個別の相談も寄せられ、健康への関心の高さがうかがえた。

卒業生が東北大学教授に就任

本学歯学部の卒業生であり、かつて本学歯学部口腔感染免疫学分野にて准教授を務めた多田浩之博士が、本年4月1日付で東北大学大学院歯学研究科微生物学分野の教授に就任した。他大学の教授に就任した歯学部卒業生は、多田教授で6人目となる。

多田教授は若き頃より研究者としての資質に優れ、毎年、国際的な学術雑誌に多数の論文を発表され、科研費も継続して採択されるなど、常に高い研究業績を挙げてきた。加えて、国内外の学会において幾多の賞を受賞するなど、その活躍は目覚ましいものがある。

本学卒業生であり、本学においても教鞭を執った先生が他大学の教授職を担われることは、在学生および後進の教員にとって大いなる励みであり、本学の教育研究活動の質の高さを示す証でもあると言える。

ライフサポート部が仙台国際ハーフマラソンへ救護ボランティアとして参加

仙台国際ハーフマラソンは、参加者が1万人を超え、30年以上続く東北最大のマラソン大会である。本学ライフサポート部は、過去15年以上にわたり、このマラソン大会に救護ボランティアとして参加している。

今年の仙台国際ハーフマラソンは5月11日(日)に開催され、教員4名とライフサポート部の学生11名の計15名がボランティアとして参加した。当日は、脱水/嘔吐/意識障害などで多くのマラソンランナーが救急対応を必要とし、医師、看護師、他の医療系大学の学生ボランティアと協力し、競技中のみならず終了後も数時間にわたって救護活動を行った。

2025年度歯学部FD事業計画

- 1) 録画授業評価(4月～11月末)
- 2) 自己点検・自己評価の実施
- 3) 研修医ワークショップ「打倒119回」(実施方法：117回国試麻布結果から正答率60%以上の問題から全国平均と10%以上差がついた問題について、それぞれの問題について「なぜできないか・解決法」を検討)
- 5) 共用試験(CSX, CPX)の認定評価者養成ワークショップ参加
- 6) 「118回分析と改善方策」まとめ
- 7) 第1回教員研修会「119回歯科医師国家試験の分析」
- 8) すり合わせ参観
- 9) アセスメントポリシー・シラバス説明会
- 10) 卒業時アンケート・卒後アンケートの実施
- 11) 「学生による授業評価」
- 12) 卒業生キャリア形成の状況調査(本学病院助手採用の本学卒業生対象)
- 13) 第2回教員研修会開催
(講師：日本歯科大学学長 藤井一維氏)

臨床実習登院式

4月7日(月)、歯学部第5学年56名の臨床実習登院式が行われ、第5学年学生全員が、緊張した面持ちで参加した。鈴木史彦附属病院長から、これまでの座学で培った知識を臨床実習を通じて定着させる必要性や、模型実習と異なり、患者さんの応対をする実習であることの注意点について訓示があった。その後、学年学生委員長の古舘諄さんが代表として、附属病院のルールに則って臨床実習を行うことを宣誓した。臨床実習では、各診療科でローテーション方式の実習が行われる。



56名が臨んだ臨床実習登院式

歯科医師臨床研修開始式

2025年度歯科医師臨床研修開始式が4月1日(火)に挙行された。鈴木史彦附属病院長より、単独型研修プログラムA：27名、地域医療短期プログラムB：7名、地域医療長期研修プログラムC：5名、計39名の研修が許可された。

その後、病院長からは保険診療のルールと接遇マニュアルの遵守についての訓示があり、研修歯科医は、これから始まる歯科医師人生への大きな期待と少しの不安を胸に、生涯研修の一步を踏み出した。



歯科医師臨床研修開始式の様子

薬学部就職先一覧

【病院】

一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院、一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北福島病院、医療法人辰星会栴記念病院、一般財団法人竹田健康財団竹田綜合病院、公益財団法人会田病院、JA福島厚生連白河厚生総合病院、気仙沼市立病院、社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院、JA静岡厚生連中伊豆温泉病院

【薬局】

株式会社アインファーマシーズ、株式会社コスモファーマ、日本産業推進機構さくら薬局、カメイ調剤薬局、シップヘルスケアファーマシー東日本株式会社、ファーマシーすず、アボクリート株式会社

【ドラッグストア】

ウエルシア薬局株式会社、株式会社カワチ薬品、株式会社サンドラッグ

【その他】

福島県、千葉大学大学院医学薬学府薬学研究
院、熊本大学大学院医学教育部発生医学研究
所

日本歯科医師会入会説明会の開催

4月22日(火)、本学歯学部附属病院臨床研修歯
科医39名を対象とする日本歯科医師会入会説明
会が開催された。主催者として、日本歯科医師
会の佐藤真奈美理事、日本歯科医師会若手歯科
医推進委員会の平幸雄委員、福島県歯科医師会
の海野仁会長が来学された。



研修歯科医が参加した入会説明会

薬学部入学前スクーリング

3月31日から4月2日までの3日間にわたって、薬
学部の入学前スクーリングが実施され、2025年
度に入學予定の1年生および編入学生のべ96名が
参加した。入学前スクーリングは、本学で学ぶ
ことへの心構えを醸成することと、新入生・在
学生・教員相互の交流を図ることを目的として、
薬学部初年次教育委員会により実施されている。3
日間の日程では、キャンパスウォーク、アイスブ
レイク、講演「薬剤師として働くとは」、在学生・
教員との交流会、有機化学実習などが行われた。
実施後のアンケートでは、約9割の参加者がス
クーリングは有益だったと回答しており、とり
わけ新入生・在学生・教員の交流会は多くの参
加者に好評だった。入学後の新入生間のコミュ
ニケーションも円滑に行われている様子が見て
取れ、スクーリングが効果をあげていることが
窺える。



薬学部入学前スクーリングの様子

小林初夫図書館長が郡山駅前の
ビッグアイで講演

福島県語りと方言の会主催の講演会が5月25日
(日)に郡山駅前のビッグアイで開催され、小林初
夫図書館長が「学校外教育における方言教育」
という演題で講演した。

小林図書館長は、方言教育を学校教育だけで
行うには、教育課程という制約が壁になり限界
があることから、公民館や図書館、博物館などの
社会教育施設で行うことが有効であることを学
校外教育として提唱している。学校外教育は参
加者の自由な意思に基づく学習が可能で、学習
の方法や形態も多様であり、地域の子どもたち
から高齢者まで一緒に活動することができ、さ
らに教育課程による制約もないので方言教育に
は最適であることを自らの実践を踏まえて解説
した。講演には県内各地の語り部の方や方言教
育に関心を持つ教員や大学院生なども参加し、
熱心に聴講していた。



郡山駅前のビッグアイで行われた講演会

学校法人晴川学舎 2024年度決算報告

1. 資金収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,549,400,000	1,844,254,800	705,145,200
	補助金収入	419,202,000	349,687,700	69,514,300
	その他の収入	1,537,826,000	1,251,374,740	286,451,260
	前年度繰越支払資金	1,447,430,671	1,447,430,671	0
	収入の部合計	5,953,858,671	4,892,747,911	1,061,110,760
支出の部	人件費支出	2,137,968,000	2,005,451,369	132,516,631
	教育研究経費支出	1,631,673,000	1,163,116,917	468,556,083
	その他の支出	1,425,432,000	918,172,813	507,259,187
	翌年度繰越支払資金	758,785,671	806,006,812	△ 47,221,141
	支出の部合計	5,953,858,671	4,892,747,911	1,061,110,760

2. 事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異
教育活動収支	事業活動収入の部			
	学生生徒等納付金	2,549,400,000	1,844,254,800	705,145,200
	経常費等補助金	419,202,000	300,209,700	118,992,300
	その他の収入	742,855,000	690,167,470	52,687,530
	教育活動収入計	3,711,457,000	2,834,631,970	876,825,030
	事業活動支出の部			
	人件費	2,161,536,000	2,005,380,464	156,155,536
	教育研究経費	1,993,861,000	1,525,903,149	467,957,851
	その他の支出	458,073,000	387,403,509	70,669,491
	教育活動支出計	4,613,470,000	3,918,687,122	694,782,878
教育活動収支差額		△ 902,013,000	△ 1,084,055,152	182,042,152
教育活動外収支	事業活動収入の部			
	受取利息・配当金、その他収入	28,621,000	28,896,780	△ 275,780
	教育活動外収入計	28,621,000	28,896,780	△ 275,780
	事業活動支出の部			
	借入金等利息、その他支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額		28,621,000	28,896,780	△ 275,780
経常収支差額		△ 873,392,000	△ 1,055,158,372	181,766,372
特別収支	事業活動収入の部			
	資産売却差額、その他収入	500,000	52,309,202	△ 51,809,202
	特別収入計	500,000	52,309,202	△ 51,809,202
	事業活動支出の部			
	資産処分差額、その他支出	0	86,252,703	△ 86,252,703
	特別支出計	0	86,252,703	△ 86,252,703
特別収支差額		500,000	△ 33,943,501	34,443,501
〔予 備 費〕		50,000,000		50,000,000
基本金組入前当年度収支差額		△ 922,892,000	△ 1,089,101,873	166,209,873

3. 貸借対照表

(単位：円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減	
資産の部	固定資産	25,903,680,350	26,323,213,435	△	419,533,085
	有形固定資産	8,217,521,610	8,334,253,550	△	116,731,940
	土地	1,677,877,442	1,677,877,442		0
	建物	3,635,139,634	3,524,795,202		110,344,432
	教育研究用機器備品・図書他	2,904,504,534	3,131,580,906	△	277,076,372
	特定資産	17,674,707,967	17,977,377,112	△	302,669,145
	減価償却引当特定資産	8,556,472,246	8,937,573,025	△	381,100,779
	第2号基本金引当特定資産他	9,118,235,721	9,039,804,087		78,431,634
	その他の固定資産	11,450,773	11,582,773	△	132,000
	流動資産	2,103,330,350	2,783,017,174	△	679,686,824
	現金預金	806,006,812	1,447,430,671	△	641,423,859
	未収入金他	1,297,323,538	1,335,586,503	△	38,262,965
資産の部合計		28,007,010,700	29,106,230,609	△	1,099,219,909
負債の部	固定負債	1,114,395,802	1,114,466,707	△	70,905
	退職給与引当金	1,114,395,802	1,114,466,707	△	70,905
	流動負債	462,004,103	472,051,234	△	10,047,131
	未払金	160,267,281	180,077,065	△	19,809,784
	前受金他	301,736,822	291,974,169		9,762,653
負債の部合計		1,576,399,905	1,586,517,941	△	10,118,036
純資産の部	基本金	29,444,766,694	30,474,144,639	△	1,029,377,945
	繰越収支差額	△ 3,014,155,899	△ 2,954,431,971	△	59,723,928
	純資産の部合計	26,430,610,795	27,519,712,668	△	1,089,101,873
負債及び純資産の部合計		28,007,010,700	29,106,230,609	△	1,099,219,909

歯学部新任教授紹介



歯学部 生体構造学講座

教授 今井 元

2025年4月1日付けで歯学部
(生体構造学講座)の教授を拝
命いたしました今井元と申し
ます。はじめに、このような
素晴らしい機会を与えてくだ

さった奥羽大学の皆様に深く御礼を申し上げます。

私の教育経験や研究テーマを紹介しながら、今後の学部教育や研究・大学院教育についての抱負を記させていただきます。まず、学部教育についてですが、本学に赴任する以前は、東京科学大学(歯学部)と昭和大学(医学部)において、2年次の「解剖学・組織学・発生学」を担当しており、「人体の構造と機能」についての教育に従事しておりました。それらの経験の中で、2～3年次の高度で専門的な科目(解剖学・組織学・発生学・生理学・免疫学等)における「修得すべき学修項目や用語の定義」への理解が足りないために学修についていけなくなる学生を数多く目にして、1年次の教養教育の大切さを痛感しておりました。そこで、2014年に本学に赴任して以来、1年次の教養教育(基礎生物学・生物学)を担当させて頂いております。今回、教授職に就任した生体構造学講座の教育においても、1年次の教養教育の内から「生体の構造・機能・発生の全体像」についての丁寧な講義を行うことにより、2～3年次に「修得すべき学修項目や用語の定義」を十分に理解・整理させ、2～3年次の学修を充実させる教育を実践したいと考えております。それによって、学生が自信を持って国家試験に臨み、歯科医業に従事できるようにサポートしていくつもりです。

次に、研究についてですが、私は前述の大学やNIHなどで、顎顔面の発生の研究(哺乳類胚を用いた原始口腔の長期器官培養系の確立と、頭部・顔面の諸器官への胚性幹細胞の寄与を解明する研究)に従事して参りました。本学では、これらの研究を発展させ、国際的な学術雑誌に発表することで、本学のさらなる発展に貢献したいと考えております。

最後に、大学院教育についてですが、現在の研

究課題である「既に確立した長期器官培養系を応用した、エピジェネティックに生じる原因不明の薬物誘発性の顎顔面の奇形や機能障害の原因を解明する研究」の研究成果を、本学の大学院生が国際学会や学術雑誌で発表する機会を提供し、グローバルな視点を持つ歯科医師・研究者を育成したいと考えております。

以上のように、教育者・研究者としての責任を全うし、本学の学部生・大学院生たちの成長を可能な限り支援する所存です。何卒、宜しくお願い申し上げます。

人 事

<指定職>

押 尾 茂	薬 学 部 長	薬 学 部	4月1日付
柏 木 良 友	学 生 部 長	薬 学 部	〃
小 林 初 夫	図 書 館 長	図 書 館	〃

<任用>

富 士 岳 志	准 教 授	歯 科 補 綴 学	4月1日付
山 崎 北 斗	講 師	口 腔 外 科 学	〃
渡 邊 輝	助 手	口 腔 外 科 学	〃
住 谷 雅	助 手	成 長 発 育 歯 学	〃
松 木 孝 介	助 手	成 長 発 育 歯 学	〃
齊 藤 大 輔	助 手	生 体 構 造 学	〃
藤 山 修 平	助 手	附 属 病 院	〃
倉 品 慶 子	助 手	附 属 病 院	〃
佐 藤 開	助 手	附 属 病 院	〃
水 野 壮 康	助 手	附 属 病 院	〃
五十嵐 淳 美	助 手	附 属 病 院	〃
大 山 由 人	助 手	附 属 病 院	〃
前 田 けやき	助 手	附 属 病 院	〃
小 角 理 央	助 手	附 属 病 院	〃
萩 原 淳	助 手	附 属 病 院	〃
山 村 虹 渚	助 手	附 属 病 院	〃
小 林 洋 平	助 教	薬 学 部	〃
松 崎 安也奈	助 手	薬 学 部	5月1日付
渡 部 早 貴	助 手	薬 学 部	〃

<任用更新>

羽 鳥 弘 毅	教 授	歯 科 補 綴 学	4月1日付
加 藤 靖 正	教 授	口 腔 機 能 分 子 生 物 学	〃
原 田 卓 哉	教 授	生 体 材 料 学	〃
鈴 木 礼 子	准 教 授	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	〃
高 橋 昌 宏	講 師	歯 科 補 綴 学	〃
保 田 稔	講 師	歯 科 補 綴 学	〃
高 橋 文 太 郎	講 師	口 腔 外 科 学	〃
宇 佐 美 いづみ	講 師	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	〃
長 岡 正 博	講 師	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	〃
小 林 美 智 代	講 師	口 腔 衛 生 学	〃
長 峯 英 樹	講 師	口 腔 衛 生 学	〃
萩 野 早 紀	助 教	成 長 発 育 歯 学	〃
小 須 田 一 剛	助 教	成 長 発 育 歯 学	〃
伊 藤 歩	助 教	附 属 病 院	〃
今 井 彩 乃	助 教	附 属 病 院	〃
山 内 彬	助 教	附 属 病 院	〃
伊 澤 輝	助 手	附 属 病 院	〃
渡 邊 哲 也	准 教 授	薬 学 部	〃

<昇任>

今 井 元	教 授	准 教 授	4月1日付
	生 体 構 造 学	口 腔 機 能 分 子 生 物 学	
遊 佐 淳 子	教 授	准 教 授	〃
	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	

柴 田 達 也	教 授	准 教 授	〃
	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	
石 田 喜 紀	教 授	准 教 授	〃
	生 体 材 料 学	生 体 材 料 学	
佐 藤 穂 子	准 教 授	講 師	〃
	歯 科 保 存 学	歯 科 保 存 学	
北 條 健 太 郎	准 教 授	講 師	〃
	歯 科 補 綴 学	歯 科 補 綴 学	
安 部 将 太	准 教 授	講 師	〃
	口 腔 外 科 学	口 腔 外 科 学	
吉 田 健 司	准 教 授	講 師	〃
	口 腔 外 科 学	口 腔 外 科 学	
山 野 辺 晋 也	准 教 授	講 師	〃
	成 長 発 育 歯 学	成 長 発 育 歯 学	
芹 川 雅 光	准 教 授	講 師	〃
	生 体 構 造 学	生 体 構 造 学	
荒 木 啓 吾	准 教 授	講 師	〃
	生 体 構 造 学	生 体 構 造 学	
山 家 尚 仁	准 教 授	講 師	〃
	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	歯 科 補 綴 学	
荒 木 威	准 教 授	講 師	〃
	生 体 材 料 学	生 体 材 料 学	
本 多 真 史	准 教 授	講 師	〃
	口 腔 衛 生 学	口 腔 衛 生 学	
大 木 英 俊	講 師	助 教	〃
	歯 科 保 存 学	附 属 病 院	
橋 本 昌 典	講 師	助 教	〃
	歯 科 保 存 学	附 属 病 院	
渡 邊 聡	講 師	助 教	〃
	歯 科 補 綴 学	附 属 病 院	
松 村 賢 史	講 師	助 教	〃
	成 長 発 育 歯 学	附 属 病 院	
神 庭 優 衣	講 師	助 教	〃
	成 長 発 育 歯 学	附 属 病 院	
大 塚 沙 有 美	助 教	助 手	〃
	附 属 病 院	附 属 病 院	
内 藤 大 貴	助 教	助 手	〃
	附 属 病 院	附 属 病 院	
二 瓶 義 勝	助 教	助 手	〃
	附 属 病 院	附 属 病 院	
亀 井 夏 美	助 教	助 手	〃
	附 属 病 院	附 属 病 院	
長 浜 真 司	助 教	助 手	〃
	附 属 病 院	附 属 病 院	
吉 田 健 太 郎	准 教 授	講 師	〃
	薬 学 部	薬 学 部	

<再任用>

清 浦 有 祐	新 教 授	旧 教 授	4月1日付
	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	口 腔 病 態 解 析 制 御 学	
瀬 川 洋	教 授	教 授	〃
	口 腔 衛 生 学	口 腔 衛 生 学	

山 森 徹 雄	教 授	教 授	〃
	附 属 病 院	附 属 病 院	
押 尾 茂	教 授	教 授	〃
	薬 学 部	薬 学 部	
小 池 勇 一	教 授	教 授	〃
	薬 学 部	薬 学 部	
伊 藤 鍛	教 授	教 授	〃
	薬 学 部	薬 学 部	
佐 藤 研	教 授	教 授	〃
	薬 学 部	薬 学 部	

<職務転換>		新	旧	
渡 部 剛 士	診療放射線技師	助 手	4月1日付	
	病院医療部	歯 学 部		

<昇格>		新	旧	
渡 邊 明日香	歯科衛生士長	歯科衛生士主任	4月1日付	
	病院医療部	病院医療部		
田 村 むつみ	係 長	主 任	〃	
	総 務 部	総 務 部		
田母神 盛 一	技術係長	技術職員	〃	
	総 務 部	総 務 部		
宗 像 貴 光	係 長	主 任	〃	
	病院事務部	病院事務部		
本 田 光 恵	歯科技工士主任	歯科技工士	〃	
	病院医療部	病院医療部		

<採用>				
金 子 祐 佳	看 護 師	病院医療部	3月1日付	
早 川 千夏子	准看 護 師	病院医療部	〃	
福 井 和 徳	事 務 局 長	事 務 局	4月1日付	
	兼企画・広報課長			
笠 井 祐一郎	技 術 職 員	総 務 部	〃	
渡 邊 弘	技 術 職 員	総 務 部	〃	
橋 本 誠 次	警 備 職 員	総 務 部	〃	
阿 部 茉 弥	事 務 職 員	病院事務部	〃	
鈴 木 美 咲	歯科衛生士	病院医療部	〃	
安 田 穂 海	歯科衛生士	病院医療部	〃	

<再雇用>				
板 橋 仁	部 長	財 務 部	4月1日付	
角 田 貞 伴	技術職員(課長)	総 務 部	〃	
田 卷 勝 幸	警 備 職 員	総 務 部	〃	
原 田 清 子	労 務 職 員	総 務 部	〃	
宇 佐 見 正	技術職員(主任)	学 事 部	〃	
佐 藤 道 子	事 務 職 員	学 事 部	〃	
影 山 利 夫	学 事 職 員	学 事 部	〃	
御 代 田 明 彦	歯科技工士(係長)	病院医療部	〃	
遠 藤 龍 弥	放射線技師(主任)	病院医療部	〃	

渡 部 敏 恵	看 護 係 長	病院医療部	〃
馬 場 マ キ 子	看 護 師	病院医療部	〃
本 田 ヨ リ 子	栄 養 士	病院事務部	〃

<異動>		新	旧	
川 合 宏 仁	教 授	教 授	4月1日付	
	口腔外科学	口腔機能分子生物学		
川 原 一 郎	教 授	教 授	〃	
	放射線診断学	口腔外科学		
山 崎 信 也	教 授	教 授	〃	
	口腔機能分子生物学	口腔外科学		
中 川 敏 浩	准 教 授	准 教 授	〃	
	口腔衛生学	生体構造学		
橋 本 有 加	助 教	助 教	〃	
	歯科保存学	附 属 病 院		
佐々木 楨 一	助 教	助 教	〃	
	歯科補綴学	附 属 病 院		
梅 村 浩二郎	助 教	助 教	〃	
	歯科補綴学	附 属 病 院		
笹 谷 哲 郎	助 教	助 教	〃	
	成長発育歯学	附 属 病 院		
根 本 奈央子	助 教	助 教	〃	
	成長発育歯学	附 属 病 院		

<職位変更>		新	旧	
泉 田 玉磨美	歯科衛生士	歯科衛生士長(相当職)	4月1日付	
	病院医療部	病院医療部		

<退職>				
柳 沼 雄二郎	診療放射線技師	病院医療部	3月4日付	
菊 地 尚 志	教 授	生体材料学	3月31日付	
廣 瀬 公 治	教 授	口腔衛生学	〃	
木 村 裕 一	教 授	歯科保存学	〃	
鈴 木 海 路	講 師	歯科補綴学	〃	
渡 部 議 之	講 師	歯科補綴学	〃	
御 代 田 駿	講 師	口腔外科学	〃	
野 口 太 照	助 教	附 属 病 院	〃	
木 村 楽	助 教	附 属 病 院	〃	
鈴 木 香名美	助 教	附 属 病 院	〃	
玉 木 望	助 教	附 属 病 院	〃	
志 村 紀 子	教 授	薬 学 部	〃	
大 原 宏 司	准 教 授	薬 学 部	〃	
佐 藤 亜希子	准 教 授	薬 学 部	〃	
佐 藤 康 汰	主 任	財 務 部	〃	
大 槻 萌 乃	歯科衛生士	病院医療部	〃	
遠 藤 由 真	歯科衛生士	病院医療部	〃	
鈴 木 礼 子	准 教 授	口腔病態解析制御学	4月30日付	
中 川 直 人	教 授	薬 学 部	5月31日付	

奥羽大学報180 (通算 第305号) 2025年6月30日発行
 発 行 奥羽大学
 学報編集委員会
 委員長 清浦有祐

☎963-8041 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
 電話 024(932)8931(代) FAX 024(933)7372
 ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>
 メールアドレス info@ohu-u.ac.jp

歯学部 | 薬学部
Innovative Future
奥羽大学
オウウダイガク

歯学部

私は社会人から
転向しました

当日のスケジュール〈歯学部〉

10:00～(5分)	オリエンテーション
10:05～(25分)	学部紹介・入試説明
10:30～(45分)	ミニ講義・体験実習
11:15～(10分)	休憩
11:25～(30分)	キャンパス見学
12:10～	個別相談・学食体験

当日のスケジュール〈薬学部〉

10:00～(5分)	オリエンテーション
10:05～(30分)	学部紹介・入試説明
10:35～(10分)	休憩
10:45～(30分)	卒業生の職場紹介
11:15～(30分)	キャンパス見学
11:45～	個別相談・学食体験
12:30～	午後の部

卒業生の職場紹介

医療法人辰星会 樹記念病院様
株式会社ハシドラッグ様

午後の部の内容

入試問題解説、調剤体験、化学実験・展示、個別相談、
在学生・卒業生への質問コーナー、薬学部棟見学

- 要事前予約
(LINE公式アカウント、又はホームページからお申し込みください)
- 全日程保護者同伴可(保護者のみの参加も可能です)
- JR郡山駅から無料送迎バス(郡山駅発 9:20、大学発 13:30)

オープンキャンパス

2025 8/9 8/23
2025 8/9 8/23

2026 3/20
2026 春分の日 金

決めた時が
スタートだ

薬学部

私は高校3年生で
決めました

LINE 奥羽大学LINE
公式アカウント



QRコードから友達追加
してください。

入試やイベントの
最新情報を配信

オープンキャンパスの
申し込みも可能



歯学部



薬学部

要事前予約

LINE公式アカウント
又はホームページからお申し込みができます

奥羽大学 東北歯科専門学校

歯科衛生士科

歯科技工士科

奥羽大学

検索

www.ohu-u.ac.jp

豊かな学修環境

最大6年間
学費
フルサポート

自力進学支援型

歯学部・薬学部 特待生募集

▶ 返納義務無し ▶ 一時納入の必要無し

キミのやる気と実力を存分に活かしてほしい。

医療人としての人生をここから始めよう。

人間性豊かな歯科医師、薬剤師になるために。

歯学部 **16名** 薬学部 **20名**



歯学部

入学金
50万円
のみ

最大6年間

2,100万円
免除



薬学部

入学金
20万円
のみ

最大6年間

900万円
免除

まずはお問い合わせください！

Innovative Future

奥羽大学

オ ウ ウ ダ イ ガ ク



歯学部



薬学部

TEL 024-932-8995

〈お問い合わせ先 企画・広報課〉

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1 FAX: 024-933-7372
E-mail: info@ohu-u.ac.jp

人間力を
養う教育

高度医療を
支える知識